



2007年6月28日

報道関係各位

ダノンウォーターズオブジャパン株式会社  
財団法人日本ユニセフ協会

## アフリカの子どもたちに清潔で安全な水を Volvic - ユニセフ タイアップキャンペーン 「1L for 10L (ワンリッター フォー テンリッター)」プログラム 日本でスタート

日本の消費者の皆様の参加により、10年間で、延べ約7億リットルの清潔で安全な水をアフリカのマリ共和国に住む子どもたちとコミュニティのために供給することを目指します

ナチュラルミネラルウォーターブランド「Volvic (ボルヴィック、以下ボルヴィック)」を有するフランスの総合食品メーカーダングループの飲料水事業を日本で展開するダノンウォーターズオブジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区代官山、代表取締役社長:リチャード・ホール、以下ダノンウォーターズオブジャパン)と財団法人日本ユニセフ協会(本社:東京都港区高輪、会長:澄田 智、以下日本ユニセフ協会)は本日、ボルヴィックとユニセフがグローバルに展開している、清潔で安全な水を確保するための支援プログラム「1L for 10L (ワンリッター フォー テンリッター、以下 1L for 10L)」プログラムを、7月2日(月)から9月30日(日)まで、日本全国で展開することを発表しました。

2006年12月11日にユニセフが発表した「世界子供白書 2007」は、今地球上で、汚染された水による下痢が原因で、毎日4,100人もの5歳未満の子どもたちが命を落としていると報告しています。また、地球上の6人に1人(10億人以上)が、安全で清潔な水を確保できていない状況に置かれ、特にアフリカや南アジアの状況が深刻であると言われています。

ダングループは世界中全ての人々の生活基盤の持続的な発展をビジネス戦略上重視しており、「1L for 10L」プログラムも自社の事業発展とともに社会の発展を目指すダングループの姿勢が現れた1つの例です。本業である飲料水事業においてリーディング企業としての社会的責任を果たすにあたり、世界各地で、人々の飲料水の支援活動におけるノウハウと長年の実績を有し、「安全な水と衛生の確保」という同じ目標を掲げているユニセフとともに、「1L for 10L」プログラムを通じた清潔で安全な水確保のための長期的な支援活動に取り組みます。

「1L for 10L」プログラムは、今世紀地球が抱える水資源に関わる重要課題に取り組んでいくため、Volvicとユニセフが共同で取り組むもので、ユニセフが開発途上国を中心に世界各地で実施している水と衛生に関する事業を、ダングループがボルヴィックブランドを通じて支援するグローバルプログラムです。2005年にドイツでスタートし、昨年はフランスでも展開され、これまでに両国の消費者から寄せられた善意により、今後10年に渡り、総量37.8億リットルを超える\*清潔で安全な水が、エチオピア、ニジェールの子どもたちとコミュニティに提供される予定です。

日本ユニセフ協会およびダノンウォーターズオブジャパンでは、日本国内のプログラム支援対象国を、清潔で安全な水へのアクセスの地域格差の解消が国家戦略計画として掲げられている西アフリカのマリ共和国に決定。プログラム実施期間中、全てのボルヴィック製品(フルーツキス\*\*を含む)の売り上げ総量に応じて、ダングループが売上の一部をユニセフに寄付します。この支援により、ユニセフがアフリカに井戸を作り、10年間のメンテナンスを行います。このようにして、ボルヴィック出荷量1Lにつき10Lの清潔で安全な水が、マリ共和国に供給され、今後10年間で約10,000人の人々に、延べ約7億リットルの清潔で安全な水が供給されることを目標としています。また、水の供給活動に付随する衛生知識の普及をはじめとする様々な活動を通じて、現地の人々の衛生環境や生活水準の向上も目指しています。

\*2006年12月時点

\*\*本年5月1日より関東を中心とした1都9県(東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、静岡、長野、山梨)にてエリア限定発売。

以上



添付資料： マリ共和国における清潔で安全な水に関する問題、マリでの具体的支援活動内容、日本における告知活動、店頭活動について

### 日本における「1L for 10L」プログラム背景情報：

#### マリ共和国における清潔で安全な水に関する問題：

マリにおいて安全な水源を利用する人々の割合は全国で 50% (2 人に 1 人) と世界平均より低く、特に農村部では 36% (2.7 人に 1 人) に留まっているのが現状です。農村部では掘り込み式の浅井戸や沼等の上澄み水を使用する状況が強いられ、下痢やメジナ虫病、コレラやトラコマ (慢性結膜炎) 等の水が原因となる病気にかかりやすく、マリでは清潔で安全な水さえあれば予防できる病気である下痢が、子どもの死因の 3 番目に上げられています。そのため、今回のプログラムは、農村部でも特に清潔で安全な水源が確保できず、掘り込み式の浅井戸や池等の水を生活水として使用せざるをえないモプティ行政区 (Mopti) とガオ行政区 (Gao)、そしてアンソング行政区 (Ansongo) を対象に実施されます。

#### マリでの具体的支援活動内容：

日本での Volvic 出荷量に応じてダノングループから寄付された支援金を基に現地でユニセフが行う具体的な支援活動としては、1) 手押しポンプ付の深井戸 20 本の建設、2) 60 本の手押しポンプ付の深井戸の修理を含む持続可能な水源管理体制の整備、3) 手押しポンプのメンテナンスを確実に実施できる水と衛生に熟練した作業員の確保、そして 4) コミュニティの水と衛生に関する活動の管理および住民への水と衛生に関する啓蒙活動を行うための自治体レベルの能力の強化、が含まれます。持続的な使用を実現させるために、ユニセフは井戸の建設や修理だけでなく、修理工や修理部品の確保、トレーニングを実施し、住民が主体となってメンテナンスを行うことで、10 年に渡る井戸の使用実現を目指します。

#### 日本における告知活動：

「1L for 10L」プログラムではまた、日本におけるアフリカの水と衛生に関する問題に対する関心と理解を高めることも目指しています。7 月 2 日からテレビコマーシャルの放映による告知活動も予定されています。また、Volvic のブランド website ([www.volvic.co.jp](http://www.volvic.co.jp)) では「1L for 10L」専用サイトが本日よりオープンし、本年 5 月に行ったマリでの現地視察にて得られた様子や、プログラムの背景等、様々なコンテンツを紹介していく予定です。

#### 店頭活動について：

消費者との接点である店頭活動においては、日本における販売者であるキリンビバレッジ株式会社が、流通各社の賛同・協力によりマーチャндаイジング活動を行い、広く本プログラムに関しての認知拡大を図ります。

#### ダノングループについて

ダノングループは 2006 年度売上 140 億ユーロを誇るグローバル企業です。乳製品において世界 1 位、全世界のミネラルウォーター (販売量ベース)、ビスケット市場においても第 2 位のマーケットシェアを有します。乳製品分野において、ダノングループは売上 79 億ユーロを計上し、西ヨーロッパ地域 (フランス、スペイン、イタリア、ポルトガル、イギリス、ベルギーにおいて第 1 位)、東ヨーロッパ地域 (ポーランド、チェコ、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアにおいて第 1 位)、北米地域 (アメリカにおいて第 1 位)、中南米地域 (アルゼンチン、ブラジルにおいて第 1 位)、北アフリカおよび中東地域 (アルジェリア、モロッコ、チュニジア、イスラエル、サウジアラビア、トルコにおいて第 1 位) など、それぞれの地域において強い存在力を誇っています。アジア地域においても 25 億ユーロを超える売上を計上しています。

([www.danone.com](http://www.danone.com))

#### Volvic について

Volvic は、輸入ミネラルウォーターの中で売り上げ No.1\* ブランド。1986 年の日本での輸入開始以来、着実に売り上げを伸ばし続け、若者層を中心に幅広く愛飲されています。水源はフランス中部・オーヴェルニュ地方に広がる火山自然公園のピュイ山脈。北端にある Volvic 村の地が深くか採水し、外気に全く触れることなく充填・キャッピングされた、まさに大自然がそのまま生きているナチュラルミネラルウォーターです。水源地の周辺環境は厳重に保護されており、約一万年前の火山活動で生まれた特別な地層が自然なフィルターとなってゆっくりとろ過されます。ヨーロッパでは珍しい「硬度 60 の軟水」で、そのすっきりとまるやかな味わいは、軟水の国である日本人の口にもよく合い、消費者の皆様から好評をいただいております。( [www.volvic.co.jp](http://www.volvic.co.jp) )

日本においては、キリン MC ダノンウォーターズが Volvic の輸入、マーケティングを行い、キリンビバレッジが販売を行っています。



1ℓ → 10ℓ



### ユニセフについて

ユニセフは、世界 156 の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。ユニセフは、開発途上国で男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開しています。活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。

40 年以上に渡り、ユニセフは安全な水と衛生施設を必要としている人々に提供するためのプログラムを実施しており、井戸やトイレの建設や水と衛生に関する啓蒙活動を展開しています。「安全な水と衛生の確保」はユニセフが中期事業計画(2006 年～2009 年)で掲げる 5 つの重点分野の 1 つで、様々な政府機関や NGO 等のパートナーと協力しながら活動しています。 (<http://www.unicef.org>)

### 日本ユニセフ協会について

財団法人日本ユニセフ協会は、先進工業国 37 カ国にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、政策提言(アドボカシー)、募金活動を担っています。 (<http://www.unicef.or.jp>)